株式会社マルハグループ本社

2004年4月1日 東証第一部上場 水産・農林 コード:1334

~ 純粋持ち株会社の設立とグループ経営について ~

「健康・本物・簡便」に加えて「安心」「安全」を旨とする「食」の提供により社会に貢献する



(株)マルハグループ本社設立

純粋持ち株会社として、4月1日東証第一部 水産・農林業種にコード1334で上場いたしました。

「部分最適」から「全体最適」を追求するグループへ!!

グループ経営に特化した グループ全体最適を目指した *「戦略立案」*と グループ企業の *「経営管理」*機能

=> 事業ユニット及び戦略セグメントの導入



<u>事業ユニット及び戦略セグメントの概略 (2004年3月期)</u>

	事業ユニット	売上高(億円)	企業数	主要関係会社	
水産セグメント	漁業・養殖ユニット	171	13社	マルハ、大洋A&Fの一部 他	
	北米ユニット	3 5 8	8社	マルハ、Western Alaska Fisheries, Inc. 他	
	水産商事ユニット	8 3 1	5社	マルハ、大洋A&Fの一部 他	
	荷受ユニット	3 , 7 8 2	14社	大都魚類、神港魚類 他	
	戦略販売ユニット	2 5 2	4 社	マルハ、琉球大洋の一部、新洋商事他	
食品セグメント	業務食品ユニット	8 6 0	14社	マルハ、Kingfisher Holdings Limited 他	
	市販食品ユニット	5 4 6	8社	マルハ、デイジー食品工業、青森缶詰 他	
	砂糖ユニット	2 4 7	7社	塩水港精糖、パールエース 他	
	化成品ユニット	5 8	2社	マルハ、大洋A&Fの一部 他	
保管物流セグメント		2 2 1	20社	マルハ物流ネット、新日本コールド 他	
その他		2 5 2	20社	マルハ、マルハレストランシステムズ 他	
	全 社	1	4社	マルハ、マルハ経理マネジメント、マルハヒュー マンアシスト,エム・アンド・アソシエイツ	
合 計		7,579	96社		

グループビジョン実現に向けて

経営理念

"「健康・本物・簡便」に加えて「安心」「安全」を旨とする 『食』の提供により社会に貢献する"

グループビジョン

魚介類という地球からの恵みを

漁業・養殖、加工、保管・物流、販売といったステージを通じて

世界の海からお客様の食卓へお届けして一世紀余

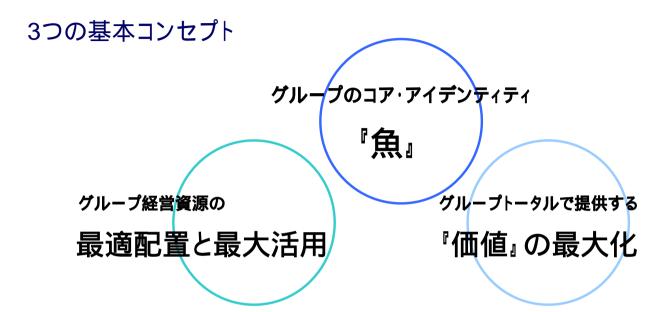
コア・アイデンティティーは 「魚」

お客様のニーズ グループの創意

「価値あるもの」をあらゆる食卓のシーンで豊富に提供していく



グループ中期3ヵ年経営計画



~ グループの事業構造を「部分最適」から「全体最適」に転換 ~

グループ中期3ヵ年経営計画の取り組み状況

2002年度

2003年度

2004年度

施策の実行・新たな枠組みの検討

枠組みの検討 実施

全体最適化に向けた枠組み 構築 選択と集中 経営資源の集約



畜産子会社の統合 冷蔵持株会社の設立 経理子会社の設立 キャッシュマネシ・メントサーと・スの導入 事業拡大の具体化経営資源の効率化

枠組みの強化・仕組み作り



大阪魚市場との業務提携 九州荷受持株会社の設立 養殖・蓄養事業の強化 欧州販売会社設立 海外工場の生産体制強化 人事労務子会社設立 グループ経営と業務執行の分離 国内販売強化 海外生産 / 海外販売の本格化 有利子負債削減



純粋持ち株会社の設立 事業ユニット,戦略セグメント の導入 次期中期3ヵ年経営計画の策定

2004年3月期決算概要

	実績	前期比
売上高	7,579億円	94.2%
営業利益	118億円	83.0%
経常利益	91億円	66.6%
当期純利益	19億円	115.6%

2005年3月期に向けての施策

- 1. グループ本社設立によるグループ経営体制の確立
- 2.セグメント/ユニット経営を本格的に導入し、事業ユニット毎の、今後の具体的な強化·拡充策を策定し、 次期の中期経営計画の成長拡大戦略の布石とする
- 3.全体として,引き続き事業再編・統合の推進
- 4. 引き続きローコストオペレーションの徹底を図る
 - ・・・ (株)マルハ経理マネジメント, (株)マルハヒューマンアシスト, (株)エム·アンド·アソシエイツのシェアードサービスの活用も

グループ中期3ヵ年経営計画 ~ 数値目標と達成状況~

		02年3月期 基準年度	03年3月期 上段:中期計画 下段:実績	04年3月期 上段:中期計画 下段:実績	05年3月期 上段:中期計画 下段:見通し	3ヵ年合計 達成率
	売上高	8,410億円	8 , 4 0 0 億円 8 , 0 4 2 億円	8,500億円 7,579億円	8 , 7 0 0 億円 7 , 7 0 0 億円	91.1%
	売上総利益	857億円	904億円 867億円	929億円 822億円	966億円 850億円	
į	売上総利益率	10.2%	10.8% 10.8%	10.9% 10.8%	11.1% 11.0%	
営業利益		81億円	119億円 142億円	143億円 118億円	170億円 160億円	97.2%
営業利益率		1.0%	1 . 4 % 1 . 8 %	1 . 7 % 1 . 6 %	2 . 0 % 2 . 1 %	
経常利益		79 億円	103億円 137億円	130億円 91億円	154億円 130億円	92.5%
借	削減額		3年間で400億円削減目標			125.3%
入			101億円削減	250億円削減	150億円削減	123,370
金	期末残高	3,431 億円	3,330 億円	3,080億円	2,930億円	

課題: 減収に歯止めがかからない。 これからは、増収施策が必要



成長戦略(売上高の増大)の策定に向けて

国内市場

- · 商品開発
- · 新規事業開発
- 既存顧客との連携強化・新規顧客の開拓
- ・アライアンス

海外市場

- ・ 欧米市場並びに中国市場での販売の拡大
- ・ 欧州加工拠点の設置

北米・タイ・中国にある生産拠点を有機的に連携させ, 世界に張り巡らされた魚介類調達のネットワークを活かし, 各市場に合わせたさまざまな加工度の商品を 最適な最終消費地へ届けるグローバルな生産・販売網の確立

話題の「骨までおいしい魚」



- 「骨までおいしい魚」 6月から市販でも発売!
- 海外生産(中国・タイ)を準備中
- 初年度売上目標 :

10億円

• 3 年目売上目標 :

50億円

「骨なし魚」の約200億円の市場規模と同程度の新規市場の創出を見込む

今後も常に新鮮な「驚き」と「感動」を提供できる 企業グループ <u>"フードワンダーランド・マルハ"</u> であることを目指してまいります。

当社グループは

株主の皆様への適切な利益還元を経営の重要政策と位置付け、安定配当を継続的に実施していくことを基本方針としております。